

『みんな一緒に避難しよう  
〜神戸・真陽小学校編〜』

第一幕 真陽小のいつもの光景

ナレーション

ここは、神戸市長田区の、とある小学校です。

6年生の教室では、いま、

国語の授業がおこなわれています。

6年の先生

はい、教科書の78ページのこの場面。

このとき主人公は、どう思っていたでしょうか？

男子児童しようま

はい、はい、はい！（食い気味）

6年の先生

では、しようま！

男子児童しようま

わかりません！

6年の先生

おいおい… じゃあ、なんで手を上げたんだ…  
まったくしようがないな、しようまは。

他にわかる人…？

ナレーション

いつもどおりのにぎやかなクラス。  
でも、あけみちゃんは、とてもたいくつそうです。

あけみ（心の声）

あゝあ、早く終わらないかなあ。

きょうは、朝から弟とけんかして  
イライラしてるのに。  
あゝ、だるい。

第二幕 回想シーン 朝のけんか

ナレーション

それは、今日の朝のことでした。

あけみ

ひろし、早く起きて！

ひろし

うーん、あと5分だけ…

あけみ

いつもそんなこと言って、

ぜんぜん起きないじゃん！

ひろし

お姉ちゃんはいつもうるさいなー

あけみ

もう、先行くよ！

母

ほら、ひろし、早く起きなさい！

あけみも、お姉ちゃんなんだから、  
先に行くとかいじわる言わんと、  
ちゃんと起こしてあげなさいよー。

あけみ

ええ？ なんでわたしが怒られないと

いけないの… もう、最悪！

『間をあける』

あけみ（心の声）

結局、また遅刻しちゃったし。

ひろしは言っても聞かないし、

ほんとにもう、いやになっちゃう。

一生、口きかないから…

第三幕 突然の地震

ナレーション

あけみちゃんの怒りは、おさまりません。

国語の授業も、うわの空です。

6年の先生

あけみ？ ちゃんと聞いてる？

あけみ

あ…はい！  
すみません。

6年の先生

じゃあ、次、教科書の79ページ。

3行目から、読んで。

あけみ

はい… え、えーっと…

【効果音】 ガタガタガタ（地震の音）

男子児童しようま

え…なんか揺れてないか？

6年の先生

地震だ！

みんな、机の下に隠れて！

ガヤ（小学生全員）

キヤー（叫び声） 助けて（叫び声）

【効果音】 ガタガタガタ（地震の音）く鳴りやむ

あけみ

ああ、やっと止まった…

あけみちゃんがゆっくりと目を開けると、

教室のロッカーは倒れ、窓ガラスも割れ、

床には教科書が散乱しています。

信じられない光景が広がっていました。

男子児童しろうま

みんな大丈夫か！

おれは全然、平気だったぜ！

みんな、地震のときの合い言葉、

「おはしもて」を思い出すんだ！

6年の先生

おお、しろうま。

地震のときだけ、頭さえてるな。

そう、「おはしもて」だ。

「おさない」の「お」、

「はしらない」の「は」、

「しゃべらない」の「し」、

「もどらない」の「も」、

そして、「低学年を優先に」の「て」。

みんな、けがはしていないか。

冷静に、避難の指示を待とう。

【効果音】『ピンポン。パンポン』

校内放送

みなさん、落ち着いて聞いてください。

おおつなみけいほうで  
大津波警報が出ています。

たんじんせんせいしじしたが  
担任の先生の指示に従って

ひなん  
避難をはじめてください。

第四幕 だいよんまく  
あけみの機転 きてん

ナレーション

うんどうじょうで  
運動場に出ると、低学年の中には

なこ  
泣いている子もいます。

おとうと  
とつさに、あけみちゃんは、弟のひろしが

さが  
どこにいるのか、探しました。

みあ  
でも、見当たりません。

あけみ

せんせい  
先生！ 1年は、大丈夫なんですか？  
だいじょうぶ

6年の先生

ああ…、まあ、先に避難を始めるから  
さき ひなん はじ

だいじょうぶおも  
大丈夫だと思いが…。どうかしたのか？

あけみ

せんせい  
先生、6年は、1年と一緒  
いっしょ  
に  
避難  
ひなん  
してもいいですか？

6年の先生

え？ いやでも、それは…

あけみ

1年は、みんな不安  
ふあん  
そうやし。  
泣  
な  
いている子  
こ  
だっている。  
いっしょ  
ひなん  
一緒に避難してあげたほうが  
あんしん  
おも  
安心すると思います！

6年の先生

うーん、それはそうかもしれないな。  
よし、わかった。  
おーい、6年生  
ねんせい  
のみんな、  
1年生  
ねんせい  
のそばに行  
い  
って、  
て  
ひ  
手を引いてあげてくれ！

『間を少しあける』

あけみ

ひろし、やっぱりひろしがいない…  
どこにいるの？  
ああ、こんなときまで心配  
しんぱい  
させて。  
ひろしのアホ！  
あさ  
朝のことなら気  
き  
にしてないから…

『間をあける』

第五幕 だいごまく みんな一緒に避難しよう いっしょ ひなん

ひろし

お姉ちゃん！ ねえ

あけみ

あ、ひろし。どこにいたの。

心配したんだよ。 しんぱい

ひろし

心配かけてごめんなさい。これ… しんぱい

あけみ

あ、それ、教室で飼ってたミドリガメの きょうしつ か

赤ちゃん。 あか

ひろし

連れていかないと、かわいそうだし… つ

あけみ

ほんとに心配ばかりかけて…。 しんぱい

さあ、一緒に行こう。 いっしょ

『間をあける』

ひろし

どこに避難するん？

あけみ

水笠通公園だよ。

ひろし

えー、なんでわざわざ水笠通公園まで

避難しないとイケないの？ めんどい

男子児童しようま

そのふたり、おれが教えてやるぜ！

水笠通公園は広いから、パパやママとの

集合場所にしやすいんだ。

それに、そこまでいけば

津波に襲われる心配もないしね！

ひろし

ああ、なるほど。

めんどいなんて言っちゃ、ダメなんだね。

大団円 笑顔で再会

ナレーション

こうして、あけみちゃんとひろしくんは、

みんなと一緒に、無事、水笠通公園まで

避難することができました。

母

あけみ、ひろし！（遠くから大きい声）  
ああ、無事だったのね。

ひろし

お母さん…

母

よしよし、怖かったね…

あけみ

あけみがひろしと一緒にいてくれたの？  
うん。だってわたし、ひろしの、  
たったひとりのお姉ちゃんなんだから！

母

あけみ、ありがとう。

あけみとひろしは、

お父さんとお母さんの大切な宝物だからね。

お父さんが、公園の向こう側で

待ってるから急ぎましょう。

ナレーション

あけみちゃん一家も、

そして、学校みんなも、

無事、避難することができました。

津波つなみはとてもこわいけれども、

みんなたすで助け合あって逃にげれば、

きっとみんな助たすかります。

そのことを、忘わすれないでね。

終わり